

ひとりだち



学校だより取組号
令和5年9月1日
岐阜県立飛驒特別支援学校

2学期が始まりました。今年はいつもより長い夏休みでしたが、御家族の皆様のおかげで、児童生徒の皆さんは、2学期に向かうためのエネルギーの充電ができたことと思います。御協力ありがとうございました。

さて、今年度学校の重点として取り組んでいる、「学校周知」「キャリア教育」「防災教育」の3点と、4月のPTA総会でお話した教員の「働き方改革」について、一学期の取組や今後の取組についてお知らせします。

学校周知

実際に交流し、学校や児童生徒のことを知っていただく機会をもちました



小学部おはなしの会
地域ボランティアの読み聞かせ



飛驒高山高校山田キャンパス
動物との触れ合いを通して交流



フレンドリースクール
高校生ボランティアが多数参加



新宮原山フェスタ
地域の方が多数訪れ作業製品を販売

<校外学習>

地域へ出かけ、まちの中を歩いたり、身体を動かしたり、様々な施設を利用しました。



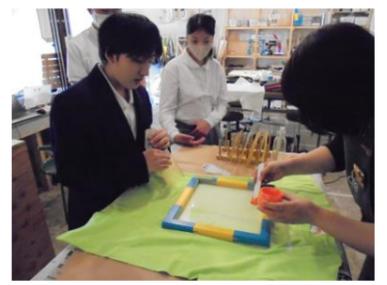
清見 B&G プール



原山 遠足



列車を利用して飛驒市へ



体験学習

<部活動：県の大会に参加>



高山信用金庫新宮支店で作品展



センター的機能 聴覚学習会
地域の聴覚障がい支援を推進



※今後、高山市役所と国府・久々野・丹生川各支所及び高山市図書館で巡回写真展、市役所で作業製品販売を通じた交流、校外学習、部活動の大会参加を予定

キャリア教育

<日常の生活の中で基本的な力をつけています>



思いを伝える



係活動



あいさつ運動



余暇活動 ボッチャ

<将来の生活に必要な事柄を学習しました>



交通安産教室



消費者教育

<社会のしくみについて学びました>



市役所見学

<「働く」ことを体験・見学を通して学びました>



高等部現場実習



中学部校内作業実習



中学部職場見学

<関係機関との連携>



職員の企業見学

※今後、中高後期校内作業実習、高現場実習、やる!やる!マーケットでの販売と買い物、小・中学部の高等部作業学習の見学、税金講習会などを予定

防災教育



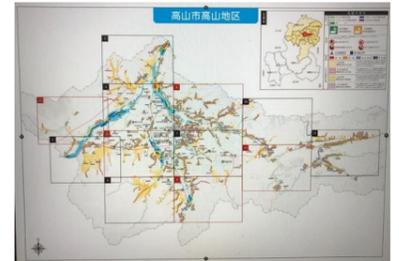
避難場所確認



火災時の引き渡し訓練



命を守る訓練
専門家の助言



ハザードマップで
自宅の状況を確認

※今後、シェイクアウトや命を守る訓練、避難時に使用するものの体験や伝言ダイヤル利用等の防災教育、PTA 防災研修等を予定

働き方改革

様々な業務に専任の職員を配置し、教師が児童生徒支援や授業準備に専念できるようにしています

- ・給食の二次調理・配膳・後片付け
- ・教材の準備
- ・登校時の送迎車誘導・清掃や消毒
- ・清掃、印刷
- ・就労支援オフィスの活用

教師が健康を保ち、生き生きと業務に取り組めるよう、当校の勤務時間 8:15～16:45 を踏まえ、早く家庭に帰る日を設定しています。

- ・毎月 8 のつく日か水曜日：18:00には退勤
 - ・2か月に1日程度：17:00には退勤
- また、夏季休業中には、4日間の学校閉庁日を設けました。

教師が業務に専念できるよう、下記の時間帯は学校の電話を留守番電話にしています。緊急の御連絡がある場合は、公用携帯におかけください。

留守番電話の時間：17:00～翌朝7:45
欠席や遅刻の連絡は、朝7:45以降をお願いします
公用携帯番号：090-7047-0359

《職員研修》



防犯訓練



特別支援教育講座



専門研修(理学療法の視点から)



ICTの研修



いじめ・人権研修

※他にも、緊急時対応訓練、救命救急研修、ICT 活用の研修、体罰防止につながる「アンガーマネジメント」のための SC 研修等行いました。

<職員福祉サービス研修会より>

講師は相談支援専門員の方で、本校卒業生の保護者さんでもられます。職員向けの研修でしたが、保護者の方にも知っていただけるとよい内容がありましたのでお伝えします。

① 相談支援事業所と早めにつながる

各種福祉サービスの利用は、相談支援事業所による計画相談に基づきます。高等部卒業時には相談支援事業所の利用が必須です。早めに相談支援事業所につながりお子さんを理解してもらっておくと、卒業時の支援にスムーズにつながります。まだ相談支援事業所を利用されておらず、どこへ相談するとよいか迷われる場合は、市役所の総合相談窓口へ。

② 障害基礎年金の受給に向けて

20歳からは障がい者本人が受給できる「障害基礎年金」がありますが、手帳を持っていれば誰でももらえるわけではありません。取得するための申請には、幼少期からの事細かな記録(病歴、成育歴、障がいによりどの程度の支援が必要なのか分かるようなエピソード等)が必要になるそうです。サービスの給付、障害基礎年金の申請等、本人及び御家族が御自身で進めていくことになります。小さいうちからこまめに記録をとり、高山市子育てサポートブック(市役所からもらうピンクのファイル)に挟んでおくことで役に立ちます。

③ 土台は家庭

「親に勝る支援者はいない。保護者が子どものことをよく知っていることが大切。人任せではいけない。相談できる人は解決してくれる人ではない、答えは自分で出す。親以外の誰が伴走者になるのか・・・施設か地域か親族か社会全体か・・・親亡き後の我が子を安心して誰かに託せることを願いつつ、親はしっかりと子の様子を(学校や施設等に)伝え共に進むこと」など、家庭が土台となることを話されました。私たち学校は、お子さんが社会に出ていくことを見据えて、学校と家庭での様子を伝え合いながら共に進んでいく伴走者でありたいと感じました。

★お知らせ★

「教えて！障害基礎年金」(障害基礎年金学習会)があります。

日時 9月13日(水)10～12時 会場 高山市総合福祉センター3階会議室

主催 岐阜県手をつなぐ育成会・飛騨地区育成会

すぐメールで出欠の希望を伺い、学校で取りまとめます。②にありますように早い時期からの準備が必要ですので、是非この機会を御利用ください。



《校内最徐行のお願い》

工事により、いつもより長い夏休みとなりましたことに対して、御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。工事は順調に進んでおり、児童生徒の学習活動に関係する渡り廊下と高等部廊下の内装工事はほぼ終了いたしました。ただ、外壁の工事はまだ続いており、足場が組まれています。そのため、すぐメールでもお知らせしましたが、中高等部棟へ向かう通路が大変狭くなっています。朝の登校時は送迎車やスクールバス等で大変混雑して危険ですので、ダッシュボードに学部のカードを提示していただくとともに、最徐行の上職員の誘導に従って走行していただきますよう、重ねてお願いします。